がん化学療法レジメン

第1版	改訂日	

登録日	R3.11.14	実施区分	□ 入院のみ ■ 入院及び外来	初回入院	■ 必要
レジメン番号	骨髄腫(MM)−024	診療科名	血液内科		
レジメン名	Dara+VCD療法				
レジメン補足	ダラツムマブ・ボルヒアルロニダーゼアルファ+ボルテゾミブ+シクロホスファミド+デキサメタゾン				
がん腫	ALアミロイドーシス				

薬剤名	漏出	投与量	1(週)							2							3							4						
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
ダラツムマブ(ダラキューロ)		1800mg	●							○							●							○						
シクロホスファミド(エンドキサン)		300mg/㎡(内服or静注)	●							●							●							●						
ボルテゾミブ(ベルケイド)		1.3mg/㎡	●							●							●							●						
デキサメタゾン(レナデックス)		40mg/週(※)	●							●							●							●						

1コース期間	28 日	目標コース数	□有 （ 6 コース） ■無 （PDまで）
点滴時間	【シクロホスファミド点滴】1時間半		

注意事項など

infusion reaction予防のため、ダラツムマブ投与1～3時間前に副腎皮質ホルモンとアセトアミノフェン(650-1,000mg)、抗ヒスタミン剤を投与すること（モンテルカスト10mg経口投与も考慮する）
（セット処方あり；入院注射オーダ→「セット」→「全科セット」→「血液内科用」→「ダラザレックス前投薬」）
《ダラツムマブの投与について》
1-2コース目はday 1, 8, 15, 22に、3-6コース目はday 1, 15に、7コース目以降はday 1のみに投与すること
7コース目以降は(MM-23)【皮下注】ダラツムマブ維持療法のレジメンに移行
《デキサメタゾンの投与について(※)》
内服もしくは静脈内投与を行う
週1回40mg/日投与（臨床試験ではダラキューロ投与日とその翌日に20mgずつ分割して投与）
《シクロホスファミドの投与について》
点滴もしくは内服で投与。最大投与量500mg/日。

★ダラツムマブ初回投与時は、輸血部（7204）に連絡すること

1～2コース目：Day 1, 8, 15, 22
3～6コース目：Day1, 15

【シクロホスファミド点滴】

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
①	ダラツムマブ	1800mg	皮下注
	※ダラキューロは臍から左または右に約7.5cmの腹部皮下に約3～5分かけて投与 ※同一部位への反復注射は行わないこと		
②	生食	100mL	ルートキープ
	ルートキープ、残りはシクロホスファミドのフラッシュに使用		
③	生食	100mL	1時間点滴
	シクロホスファミド	300mg/㎡	
④	生食	1.2mL	皮下注
	ボルテゾミブ	1.3mg/㎡	

【シクロホスファミド内服】

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
①	ダラツムマブ	1800mg	皮下注
	※ダラキューロは臍から左または右に約7.5cmの腹部皮下に約3～5分かけて投与 ※同一部位への反復注射は行わないこと		
②	生食	1.2mL	皮下注
	ボルテゾミブ	1.3mg/㎡	

3～6コース目：Day8, 22

【シクロホスファミド点滴】

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
①	生食	100mL	ルートキープ
	ルートキープ、残りはシクロホスファミドのフラッシュに使用		
②	生食	100mL	1時間点滴
	シクロホスファミド	300mg/㎡	
③	生食	1.2mL	皮下注
	ボルテゾミブ	1.3mg/㎡	

【シクロホスファミド内服】

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
①	生食	1.2mL	皮下注
	ボルテゾミブ	1.3mg/㎡	